役者を目指したころの自分

その人の背景を知らずには語れない。
深みが違う。アクセントも違う。
弱いところをさらけ出せる人が、一番強い。
弱点を隠しおおせる人は悪人。
夢見ていることが、違ってくる。
なんかできそうな気がする。

役者を目指した頃

① 弱みをさらけ出すことによって、相互理解が深まる。

② 深みとアクセント（強調点）が異なることが、個性への理解につながる。

③ 「なんかできそうな気がする」という漠然とした自己肯定感が基本にある。

「役者を目指した頃」のポイント